



夜間は反射材を身に着けよう！

セーフコミュニティの交通安全対策委員会では、『夜間の交通事故の割合を減らす』という目標に対して、夜光反射材の着用率を上げる取り組みに力を入れています。

昨年実施したアンケートによると、町全体での夜光反射材の着用率は7%に留まりましたが、**配布者に限れば53%の方が着用している**結果となりました。

これまで70歳以上や障がい者の方に夜光反射リストバンドを無料配布してきましたが、上島委員長は「高齢者だけでなく、実際に夜間に出歩く機会の多い方にぜひ使用していただきたい」と述べました。

委員会では今後、

- ① 広報活動に力を入れる
- ② 部活動が終わって薄暮時に帰宅することの多い中学生を対象に夜光反射材を配布することの検討
- ③ 公共施設での夜光反射材の貸出等

を計画し、夜光反射材の着用率の向上を目指します。

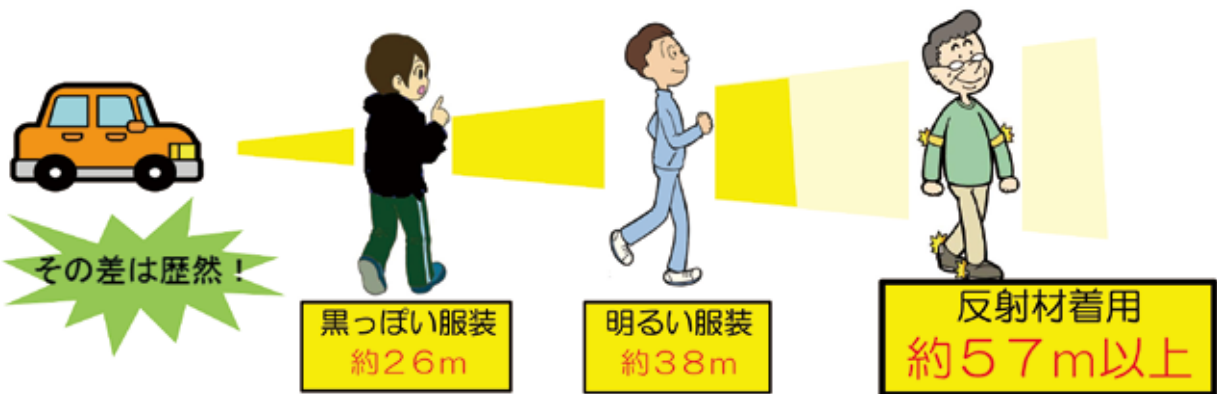


7月25日開催の交通安全対策委員会の様子。各対策委員会へ一般公募の委員が2人ずつ加わりました。



成人式で新成人へ夜光反射材着用を啓発しました。

反射材を身につけることで



夜間の車から歩行者が見える距離（ヘッドライト下向きで測定）

データ提供：伊那警察署

・夜間外出時は「**明るい服装**」で「**夜光反射材**」を活用しましょう。夜光反射材は量販店や100円ショップ等で販売されています。

・車が見えたら道路の横断をやめ、横断する時は車が止まったのを確認して横断歩道を利用しましょう。
・ドライバーのみなさんは、ライトの早め点灯と原則上向きライトの使用で歩行者を早めに見つけましょう。